

とまこまい 市議会だより

編集・発行・お問合せ先：苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839

第15回定例会を開催いたしました。

(平成30年6月7日(木)～15日(金))

第16回臨時会を開催いたしました。

(平成30年7月17日(火))



70th ANNIVERSARY

苫小牧市は市制施行70周年

エネルギー・産業基盤災害即応部隊

東日本大震災の教訓を踏まえ、総務省消防庁では石油コンビナートや化学プラントなどの被災に備え、エネルギー・産業基盤災害即応部隊「ドラゴンハイパー・コマンドユニット」を創設しました。この部隊の中核車両となる2台の特殊消防車両が、東北以北で初めて本市消防本部に配備され、平成30年6月19日から運用を開始しました。

ドラゴンハイパー・コマンドユニット運用開始



大容量送水ポンプ車と
大型放水砲搭載ホース延長車



運用開始式

TOMAKOMAI CITY
COUNCIL NEWS

第23号

平成30年8月1日発行

検索は 苫小牧市議会

検索



第16回 臨時会概要

PICKUP_06

7月1日投開票の市議会議員の補欠選挙において下記の2名が当選されましたのでご紹介いたします。これにより条例定数の28名となり議会運営を行うこととなります。



佐々木修司

◆会派 民主クラブ
◆年齢 49歳
◆常任委員会 厚生委員会
◆特別委員会 安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会



原 啓司

◆会派 日本共産党市議団
◆年齢 50歳
◆常任委員会 文教経済委員会
◆特別委員会 総合開発特別委員会

苫小牧市議会として、これからもみなさんの意思をしっかりと市政に届け、苫小牧市の街づくりと発展のために努力してまいります。あわせて、所属委員会などが決定しました。

PICKUP_07

平成30年度一般会計補正予算(第3回)

平成30年度歳入歳出予算の総額に

2,622万円追加し

歳入歳出の総額を

763億239万4千円としました。

○駅前イルミネーション事業

苫小牧駅前広場においてイルミネーション事業を実施し、市のイメージアップと市民や観光客等の集客を図り、賑わいの創出に繋がりたいと市側が提案し、賛成多数の付帯決議をもって可決しました。

【付帯決議】

議案第1号 平成30年度苫小牧市一般会計補正予算(第3回)

駅前イルミネーション事業については、2,600万円余りの多額の予算を執行することから、地元商店街や商業者と積極的にかかわりを持ち、にぎわいを創出する事業となるよう、早急に検討し、9月議会に報告するものとする。

スカイウエーの撤去作業については、市民の安全第一に考え、イルミネーションの内容、実施時期等を十分勘案して実施すること。

※付帯決議 議案の審議、採決にあたり議員の意見や希望を表明すること

議会改革検討会

大詰めに向かえる 議会基本条例制定

議会基本条例制定に向け、講師を招き2回の議員研修会を開催してきました。

平成29年度からは先進都市の事例などの資料を参考に各会派で協議し、それらを基にたたき台を作りました。どのように苫小牧らしさを盛り込んでいくか、また、これまでさまざまな意見、提案をいただきながら進めています。

この間、幾度と正副議長案を示し閉会中も含め、断続的に議会改革検討会を開催し議論を重ねてきました。6月定例会で制定作業も大詰めに迎え、今後は逐条解説及び用語解説の作業に取りかかり、出来上がり次第市民の皆様にお示しできる予定となっております。

第15回 定例会概要

一般質問では20名がIR(カジノを含む統合型リゾート)をはじめ、(仮称)市民ホール、防災、教育、福祉、介護、医療など多岐にわたり質問し、市側と活発な議論が展開されました。

PICKUP_01

IR(カジノを含む統合型リゾート)の質疑から

苫小牧国際リゾート構想の7か条

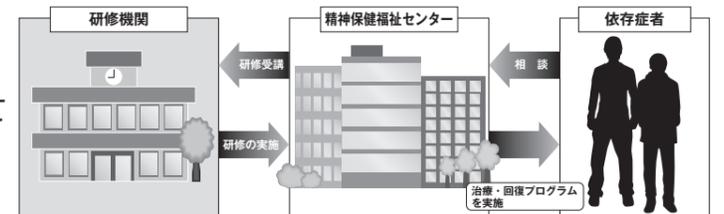
1. 北海道と苫小牧の、地域再生の構想です。
2. 世界に発信できるリゾート施設を創設します。
3. 公共投資に頼らず、民間の投資と活力を活かします。
4. 環境と共生した、21世紀型のリゾートにします。
5. 食、美術、音楽、スポーツなど、文化を大切にします。
6. リゾート以上に、「イノベーション」の場を目指します。
7. 依存症など社会的損失の最小化を目指します。

- 市側はIR誘致の優位性などに理解を!
- 議会は依存症対策や治安などに課題がある!
- ※市側と議会は慎重な議論を展開しています!

地域体制整備

依存症者に対する治療・回復プログラムの普及促進事業について

厚生労働省における依存症関連対策(平成27年度予算案)より回復プログラムの流れイメージ



PICKUP_04

平成30年度一般会計補正予算(第2回)

平成30年度歳入歳出予算の総額に

5,376万2千円追加し

歳入歳出の総額を

762億7,617万4千円としました。

主なものは、

- 沼ノ端交流センター指定管理費 **2,521万6千円**
- 海岸漂着物等処理作業経費 **122万1千円**
- 就労自立給付金の見直し等のため生活保護システム改修 **194万4千円**

PICKUP_02

国・道および関係機関に意見書を提出

- 旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める要望意見書
- 2018年度北海道最低賃金改正等に関する要望意見書
- 2019年度地方財政の充実・強化を求める要望意見書

PICKUP_03



動産の取得

消防ポンプ自動車 CD-1型 **3,283万2千円**

PICKUP_05 任期満了に伴う 人権擁護委員の決定

松平定明氏
岡部敦子氏

常任委員会

◆総務委員会

◆道南バス市内路線運賃収入
2年連続赤字

富岡 隆 委員長

道南バスが運行している市内路線バスの運賃収入について2年連続赤字になっていることが報告されました。市側は、「バス利用者の減少傾向は今後も続くと思うが、事業者と一緒に利用促進に向け取り組みたい」と答えました。

質疑の中で委員から「市が道南バスに対し路線への補助金を出しているのに、一方で無料送迎バス（イオンへ）を出している」ことを問題視。市側は、「あまり過度なことがあれば言わなければならぬ」と述べた。また道南バスと市が行っている運行連絡会議の中で、運転手のマナーや対応が悪いなど20件を超える苦情が市民から寄せられてくることも明らかにされました。



市内路線バス [道南バス]

◆厚生委員会

◆有害ごみ及び資源物（缶・ビン）の回収方法変更の報告

松尾 省勝 委員長

家庭から排出されるスプレー缶・卓上ガスボンベ・電池などの有害ごみは、現在「燃やせないごみの日」に透明または半透明の別袋に入れて排出しています。

収集車では、誤って指定ごみ袋の中に有害ごみが入り込んだ場合、積込み圧縮される際に破裂を起し、火災の原因となっています。

また、資源物も缶とビンが同じ袋に入っていることにより、割れたビンが缶の中に入り込んで、リサイクルに困難があることなど、改善の必要性について報告されました。



ごみ収集作業

委員からはごみ収集車の火災状況や資源物の回収方法変更に伴うごみレンダーの再発行、市民周知の方法などの質疑がありました。

◆文教経済委員会

◆「苫小牧市科学センターのあり方について」が示されました

宇多 春美 委員長

科学センターは、昭和45年に設置され平成11年12月には「ミール展示館」を増設するなど、科学教育の中心的な施設として幅広い年齢層の方々にご利用されてきました

が、建物の老朽化などさまざまな計画との整合性を図り、今後のあり方として「理科・化学の好きな児童・生徒を育てる機能のさらなる充実」をはじめ項目から13策が示され、次世代を担う青少年に対する科学的知識の普及・市民生涯学習の場としての機能の充実・強化に取り組みと示されました。



苫小牧市科学センター

そのほか、公益財団法人道央産業振興財団の平成29年度技術振興事業・地域産業活性化事業の報告と30年度事業計画が示され、質疑がありました。

◆建設委員会

◆道路交通安全対策事業の取組報告！

越川 慶一 委員長

全国で登下校中の児童が交通事故で死傷する事象が発生し、その多くの原因は「歩道が狭い」「スピードを出す車両が多い」などでした。市は通学路の安全確保を目的にハンブや横断歩道のカラー着色、防護柵などを設置し、対策後の効果を検証。一定の効果があつたことから今後さらなる交通安全対策に向けた取り組みを行います。



ハンブが設置された市内通学路

また、市営住宅熱供給管の各団地別アスベスト含有の可能性を調査し、市営住宅61棟のうち29棟で保温材料にアスベストが含まれている可能性が高いと分析。解体工事などでアスベストが見つければ周知を含め対応を行います。なお、解体しない市営住宅は飛散の可能性が低く現状のまま利用します。

特別委員会

◆総合開発特別委員会

◆苫小牧版IRの在り方公表

林 光仁 委員長

所管事項は7件あり、その中で質疑が活発に繰り広げられたのが、「苫小牧国際リゾート構想」でした。



苫小牧国際リゾート構想最終報告

構想で先の中間報告を基に7つの基本方針を示しました。しかし、実施法が国会で審議中であり、事業者の選定もこれからであるため、計画の詳細が見えない状況では、深めた議論に至らず、委員からもセミナーだけでは市民理解は難しいので、さらなる市民説明をとの意見もありました。

また、勇払の製紙会社の洋紙製造の停止についても質疑があり、機械保守や物流などの取引企業への影響調査を行うほかに、商工会議所とも連携し支援を検討すると答弁がありました。

そのほかに、米軍訓練関連の質疑もありました。

◆安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

◆樽前山噴火に係る避難計画を検討

岩田 薫 委員長

所管事項は社会福祉法人沼ノ端はくちょう会と福祉避難所の協定を締結したことなど4件あり、樽前山噴火に係る避難計画の検討では、法改正に伴い樽前山火山防災協議を見通した内容が、報告されたとの説明がありました。弾道ミサイル発射情報、市民周知では、消防サイレンの活用を行うことから、これまでの消防サイレンも含め市民周知をおこない、30年9月頃から開始を予定するとしてました。（仮称）市民ホールの民間活力導入可能性調査について、30年9月までに検討することとしました。



樽前山火山防災協議会の調査

そのほかに、防災会議への女性登用、防災ハンドブック別冊の作成など質疑がありました。

◆議会運営委員会

～議会基本条例を研究するため先進都市を視察～

岩田 典一 委員長

5月8日～10日、議会基本条例を含む議会改革先進地である、神奈川県小田原市、三重県四日市市、愛知県半田市を訪れ、議員や関係者に現状を聞き、調査を行いました。

小田原市では、苫小牧市が議会基本条例を検討するにあたって参考としている都市であり、条例体系の根幹や条例の運用におけるさまざまな課題や今後の方向性についても意見交換を行いました。



議会基本条例先進地「小田原市」

また、四日市市では、具体的な議員間討議を運用するにあたっての詳細な内容について調査し、議員間の議論は深まるがそれが市側に施策として



議会改革を学んだ「半田市」

反映する場合は課題などもあることが分かりました。最終日は半田市を訪問し、どのように議会改革を進めたのか背景などの詳細を聞きまし。まず、議会基本条例を制定したうえで議会改革を進めています。広報広聴にも力を入れていますが、議会傍聴者が少なくインターネットや広報紙で議会の様子を伝える努力をしています。議会報告会では、特定の人が参加しないことや参加人数の低迷などもあり、苦慮していたことを聞き、苫小牧市議会としてもたいへんに参考となる視察調査となりました。

緑 風



矢嶋翼 議員

★国際リゾート誘致構想で、外国語修得やショー出演のための、人材育成機関が必要との指摘に、インターナショナルスクール、観光・宿泊などのホスピタリティ産業や音楽などのエンターテインメント関連の教育施設設置の考えがあると答弁がありました。

★食と観光の分野で、苫小牧で何を見て・食べ・土産を買うか、市としての取り組みが足りないとの指摘に、先進事例に学び、定番作りに努めると答弁がありました。

★学校周辺や繁華街の防犯カメラの設置増の指摘に、32年度からの防犯カメラ設置5カ年計画の中で、効果的な場所への設置を考えると答弁がありました。



岩田典一 議員

★総務委員会で、公共交通関連事業の報告で苫小牧バス運行連絡会

議について質問しました。会議の目的は、民間移譲後のバス運行に対し利用者・市民からの苦情を両方で協議し、適切に処理されているか確認し問題解決にあたり、毎月1回開催されております。苦情については、移譲当初から乗務員の対応が悪い、運転が乱暴だ、荒い、停留所への停車位置が悪い、路線の間違いなど年間20件を超える苦情があり、道南バスでは乗務員教育に取り組むなど改善し、現在は年間数件と減少しています。私は、市民サービスの向上に努め、今後も市民の足として安心して乗車できるように要望しました。



木村司 議長

★第15回定例会が終了いたしました。議会改革検討会では、苫小牧市議会基本条例素案作りを続行しました。今回の正副議長長案は、前文から7章・16条構成といたしました。特に、第2章では基本理念を新たに作り、議会として基本条



竹田秀泰 議員

例をつくる意義や主旨、苫小牧らしさを表現するものとしたしました。また、新たに全員協議会を明記し、市政全般について、議員同士の自由な討論を通じて市政の発展に寄与したいと考えております。今後は、素案が決定し、逐条解説・文言解説が完成した折には、パブリックコメントを通して市民の皆さんからの意見を頂戴したいと考えております。

★業務委託業者が除雪作業中に損傷した公園柵の補修費用を、市が全額負担していることを指摘し、市は検討すると答弁がありました。

★高齢ドライバー安全対策について運転免許返納後の交通手段のサポートの提案と高齢者の衝突防止等付安全対策車購入費用の助成金制度の提案をしました。

★児童が使用しない時間帯の北栄児童センター活動室・スタジオ・遊戯室について質疑し、10月29日オープン前より一般開放の募集を



板谷良久 議員

★子供を産み育てやすい風土づくりと、苫小牧に住みたいと思うまちづくりが、人口減少対策の重要な要素であることに對する市の考え方を質問し、市は雇用の創出が重要であると答弁しました。

★2022年に簡易無線局がデジタル化されることに関連し、民間事業者の更新費用の縮減や、地域活動への利用などの効果が期待される、地域振興無線について質問し、市は情報収集に努めると答弁しました。

★IR（統合型リゾート）に関連した観光振興について、周辺地域における経済効果や雇用の考え方を質問し、市はオール北海道の観光振興拠点である、という考え方を明らかにしました。

公明党議員団

藤田池田 広美・謙次 神山哲太郎・林光仁 大西厚子

一般質問(抜粋)

【神山哲太郎議員】



市営住宅自治会役員の仕事に不足している自治会の課題や要望を把握するため調査を実施することや自治会の役員会に出席するなど、担い手不足について積極的に取り組んでいくとの答弁がありました。

★学校のスケートリンクについてスケート授業は学習指導要領に基づきおこない、屋内リンクでも実施している。学校のリンク造成は学校が判断しているが、教職員の負担の状況は否定できない。リンクの造成を民間業者に委託することとは、負担軽減になることから今後、利用実態やニーズを調査していくとの答弁がありました。

【林光仁議員】



消防本部の特別救助隊の潜水士の規定を設けるべきと質問し、潜水士などの規定を設

けると答弁がありました。海の事故で潜水・重機を民間業者に必要時に依頼するのではなく、年間を通して委託すべきと質問。関係者と協議し検討すると答弁がありました。

★社会福祉法改正で、北海道が計画している地域共生型の推進役のコミュニティソーシャルワーカーについて、苫小牧の取り組みを質問。社協において包括圏域ごとに行っており、今後連携を深めて設置を目指すとの答弁がありました。

【藤田広美議員】



道路など不具合を市民の協力で解決する市民通報型アプリの活用を提案し、調査・研究を進めると答弁がありました。駅南口エレベーターの案内の改善を求め、わかりやすい表示に改善すると答弁。エスカレーター

設置など自由通路の改築を求め、市の考えをJR北海道に伝えると答弁がありました。

★自殺予防対策ではゲートキーパーなど研修受講者に修了証やバッジの贈呈を提案し、検討すると答弁がありました。

【池田謙次議員】



（仮称）市民ホールについて、各種証明書の取り扱い、所・カフェ（会食）・親子で遊べる全天候型遊戯場（砂場も含め）などの提案をしました。

★ミサイル・津波などの市民周知のサイレンについては、9月頃から実施し、CDなどで市民周知を行うと答弁。あわせて防災無線の設置について質問しました。さらには、生ごみ問題と汚泥の

固形燃料化について質問。

★女性のための美容サービス（高齢者で外出が困難な方への訪問サービス）が実施にむけて検討中と答弁がありました。

【大西厚子議員】



★乳がん対策で、第11回定例会で提案した自己検診用シートの配布について質問。浴室で使用できる自己検診用のカードをイベントなどで配布しており、今後、3歳児健診で同伴している母親や祖母へも配布をおこなうと答弁がありました。

★受動喫煙防止対策ガイドラインについて、30年度に実態調査を行い、31年度に策定すると答弁。内容の充実を求めました。

★喫煙対策で、禁煙を希望する人に対しての禁煙外来の医療費助成を提案しました。庁舎の敷地内禁煙に向けての段階的な取り組みとして職員勤務時間内禁煙と禁煙デーを設けることを求め、禁煙デーについて検討すると答弁がありました。

民主クラブ

代表 西野 茂樹・副代表 小山 征三
幹事長 松尾 省勝・副幹事長 岩田 薫

秘密文書が規定されていますが具体的に何を秘密文書とするなど定義はなく、全ての公文書を秘密文書とできることから改正を求めました。市側は、規程の改正を視野に調査すると答弁しました。

★**統一地方選挙で住民投票を**
IR整備法案は、認定申請を行う道議会の議決と立地市町村の同意を要件としていることから「民意反映、住民との合意形成」の手法として、来春の統一地方選挙に併せて住民投票を行うことを提案しました。岩倉市長は「住民投票はなじまない」と否定的でしたが、今後住民投票を求めていきます。

一般質問

1 政治姿勢
(1)公文書管理について
(2)カジノを含む統合型リゾートについて
(3)指定管理者制度について
2 事件・事故対策
(1)防犯カメラの設置促進について
(2)防災ラジオなどの利活用について



小山 征三 議員
http://www.tomakomai.or.jp/koyama/

私は、将来を見据えた「地域公共交通網形成計画」を早期に策定し、市民の足を守るため、運行の効率化と人員不足の解消を進めるよう求めました。

★**深刻な運転士不足への早期対応を!**
私たちが取り巻く市内の公共交通環境については、非常に厳しい環境におかれています。従来の路線維持では、利用者減少に歯止めが掛からないことと同時に、従事する人員の確保ができないことによる労働環境の悪化が懸念されているなど、課題が深刻化しています。

一般質問

1 交通政策
(1)ライドシェアでの市民の安全性について
(2)地域公共交通網形成計画策定について
2 福祉政策
(1)地域福祉の増進について



松尾 省勝 議員
http://m-matsuo.jimdo.com/

★**JR北海道問題**では、市側は1市4町の存続に対する基本姿勢に変わりがなく、室蘭線沿線自治体との協議も、JRに対し存続を求めるとの答弁がありました。

★**緑ヶ丘運動公園**のリニューアルが終了したことから、新たな整備計画を求めたことに対し、市側は公園全体の利用方法など全体計画を策定すると答弁がありました。また、施設整備や、交通の利便性などから合宿誘致を強めるべきとしたのに対し、関係団体と連携し誘致活動を強化するとしました。

一般質問

1 政治姿勢
(1)JR北海道について
2 緑ヶ丘運動公園
(1)全体計画について
(2)合宿誘致について
3 第3次環境基本計画
(1)ごみ減量化について
(2)リサイクルについて
(3)不法投棄について



岩田 薫 議員

★**第3次環境基本計画**の中で、10年目を迎えたゼロごみ大作戦は、新たな施策で、減量化と、リサイクルを目指すと答えました。

★**議会基本条例**の素案まとまる平成29年度から検討、協議を重ねてきた議会基本条例が、6月議会で正副議長案を踏まえた上で、議会改革検討会で素案として、決定することとなりました。今後は、条例成文や、逐条解説を整理したうえで、市民へのパブリックコメントの手続きに入るにととなります。

★**議会基本条例**の素案まとまる平成29年度から検討、協議を重ねてきた議会基本条例が、6月議会で正副議長案を踏まえた上で、議会改革検討会で素案として、決定することとなりました。今後は、条例成文や、逐条解説を整理したうえで、市民へのパブリックコメントの手続きに入るにととなります。

議会改革検討会

西野 茂樹 議員



小野寺幸恵・渡辺 満隆
工藤 良一・富岡

日本共産党市議団

富岡 隆議員の一般質問

◆**旧トモール解体**
駅北口の旧トモール解体工事で、アスベスト除去作業の法令違反があり、半年間も停止していることを指摘し、早期の改善を求めました。



市側は、「6月末までに元請から改善計画書が提出される予定であるが、住民理解が得られる内容の解決策かどうかを見て判断する」と答弁しました。

◆まちの顔の改善

駅前では、エガオやエスタビルの問題が一向に改善されないことを指摘し、上空通路解体時の安全対策やバス停への影響、エスタビルの活用策などを提案しました。

また、これまで党市議団が提案してきた駅自由通路を活用した市のPRや駅南口のイルミネーション設置などの進捗状況を質問しました。市長は、「小さな一歩だが、少しでも明るく感じてもらえるように、若手の職員を中心に取り組んでいる」と答弁しました。

◆公営住宅の改善

6月上旬に道営住宅のエレベーターが停止し住民2名が約30分閉じ込められた事故を紹介し、「市営住宅のエレベーターは全て更新しているのに道営住宅は更新していない。道に対応を求めざるを得ない」と提案。あわせて、玄関の階段が崩れている問題や、非常階段の手すりが錆でボロボロになっていることも指摘し、改善を求めました。

◆工藤良一議員の一般質問

◆IRについて

統合型リゾートに関する市の試算では、全体の来場者は最大838万人で、そのうちカジノ利用者は406万人となっていることから、「カジノがなければ成り立たないことを示している」と指摘しました。



また、「長きに渡ってウトナイ湖とその周辺の自然環境を守ってきた。その自然を壊す大型開発は許されない」と、市の認識を求めました。担当部長は、「準備段階

から環境に配慮した検討を行なう」と答弁しました。

◆ガン検診の助成

国民健康保険の加入者は、ガン検診が無料(特定検診の受診が条件)になりましたが、窓口で払った後に申請を受けて償還する方法のため、「受診率を上げるためには窓口負担が発生しない方法にするべき」と、改善を求めました。担当部長は「申請者の意見を参考に、多くの方が利用者しやすい方法を検討した」と答弁しました。

◆年金制度の市民周知

年金制度は仕組みや計算方法が複雑で理解が進んでいないことを指摘し、「少しでも豊かな暮らしが送れるよう、周知することが大切」と提案しました。担当部長は、「任意加入や付加年金などの年金額を増額させる方法の理解が進んでいない。年金事務所と連携して周知を進めたい」と答弁しました。

◆公園のトイレ設置

川沿公園にはトイレが2カ所ありますが、わかりづらいため看板の設置を求めるとともに、増設を

提案しました。担当部長は、看板の設置を約束しました。

◆日米共同訓練

日米共同訓練における戦闘機やヘリコプターの低空飛行については、市民の安全安心の立場から防衛局に抗議するよう求めました。



◆紙おむつの無料収集

平成29年6月に提案した紙おむつの無料収集の実施について、「まだ検討が煮詰まっていない」と答弁したことから、「遅すぎる」と指摘して30年度10月からの実施を強く求めました。



◆旧トモールの解体

「正しい作業をしなかった原因者である元請業者が今後も関わるのであれば不安」と、業者変更の可能性を質問。すでに新たな業者数社が協議に加わっていることが明らかになりました。

改革フォーラム

越川 慶一・牧田 俊之
首藤 孝治・松井 雅宏

首藤 孝治 議員

☆一般質問にて「今後の公共施設延べ床面積について」質疑しました。現在、市内公共施設の延べ床面積は市民一人当たり換算すると6㎡と全国的にも非常に大きいのが現状で、苫小牧市公共施設等総合管理計画では平成38年度までに延べ床総面積を2%縮減する計画が示されておりますが、これは人口減少に合わせたもので、この計画では将来財政が逼迫する可能性があることを指摘し、市からはその時点の財政状況を見ながら柔軟に計画し対応して行くことと答弁がありました。「仮称市民ホール事業と総合体育館の複合化」について質疑し、築45年耐震判定「B」の総合体育館と仮称市民ホール事業の大ホールは兼用が可能であり、今後の市の財政状況や中心市街地の賑わいの創出などを考慮した場合に複合化すべきと指摘し、市長からは駐車場など



の問題はあるが今後検討すると答弁がありました。

☆【国道36号（三光町から柳町の区間）の渋滞解消対策を！】国道36号は、土・日などに交通渋滞が発生しているため、早急に渋滞解消対策を講ずるべきと指摘。市は「現段階で車線数を増やすことは見込めないが、土・日など一時的な交通渋滞が発生していると認識しており、渋滞解消に向け、道路交通の安全確保と円滑化の観点から、信号機の時間調整なども含め関係機関と連携し検討する」と答弁。「ドライブレコーダー購入費用助成制度の創設を！」ドライブレコーダーは、事故防止や運転意識の向上に加え、動く防犯カメラとして犯罪抑止の効果も期待されており、購入費用の助成制度創設を提案。市は「防犯活動を担う町内会などへの支援について検討しており、青色回転灯装着車両へのドライブレコーダー設置助成は、その一助に繋がります」と答弁。地域防犯活動への助成という観点で検討する」と答弁。



越川 慶一 議員

牧田 俊之 議員

☆一般質問にて観光振興ビジョン施策「フィルムコミッション誘致」について苫小牧ゆかりの漫画「僕だけがいない街」（原作三部けい）を観光振興に活かすため立ち上がった市民有志との関わりについて確認しました。苫小牧西部の観光スポット「樽前ガロー」の現状の認識と今後の整備予定について質問しました。「地質・地形・植生など繊細なバランスで成り立ち、あるがままの姿で考えている」と答弁がありました。「自主防災組織の活動実態と消防防災訓練センターの今後の活用」について質問しました。昨年は約半数の組織で防災訓練や研修視察などが行われ、避難訓練・炊き出し訓練が実施された。訓練センターとの連携、活用に関しては、自主防災連組織連合会が11月に研修会を開催予定。今後は危機管理室と連携を図り消防防災訓練センターを有効に活用していくと答弁がありました。



松井 雅宏 副議長

☆文教経済委員会において、苫小牧地方を中心とする道央地区のものがづくり産業を支援する目的で設立されている「公益財団法人道央産業振興財団」の事業が報告され、平成28年に国への約5億円の償還金が生じたことによる基金の目減りの影響と財団運営の肝とも言える地元企業の技術者OBに担っていただいている技術コーディネーター、エリアマネージャーの継続性と人材確保について取り上げ、苫小牧市を含む関係団体で構成している「道央地域新事業活動推進協議会」において協議していくとの答弁がありました。また、そのほかの所管事項で30年度に策定した中小企業振興計画に関連し、経済産業省の認定を受けた市内のIT導入支援業者との連携のもと、地元の中小企業・小規模事業者を対象としたIT導入補助金の活用支援の取り組みを求め、関係者と協議を進めるむねの答弁がありました。



会派市民

桜井 忠・谷川 芳一

■一般質問



桜井 忠 議員



谷川芳一議員

1. 保育行政
(1)認可外保育施設利用者の無料化について

2. 教育行政
(1)明徳小学校の閉校後の活用について

3. IR（カジノ）誘致について

4. 監査報告
(1)定期監査の意見について
・ 監査から不適切な使用がたくさん指摘されている。何年も改善されないのはどういふことか。
(2)指摘がある財政援助団体の意見について
・ 決算書も提出されていない団体がある。

5. 市長公約について
・ 評価が甘すぎるのでは、市長はどう考えるのか。
・ ダブルポートの概念が違つ、個別な政策ではなく有機的相乗効果を生むもののはずでなかったのか。

・ IRは良質の雇用と言っていたが、建設場所からいって千歳に住む者が多くなるのでは。
・ リスク分散投資の誘導が100%になっているが、進出に結びつかなければ50%がいいところではないか。
・ 公約は専門的な表現が多いが市職員が関わっている疑念がある。

6. 協働のまちづくり
(1)町内会との協働について
・ 会議が平日の昼開催を改めては。郵便物が多すぎる、重要なものは重要な判を押してはどうか。
・ 学校が名簿をくれないので子供の把握ができず保険も入れない状況をどう思うか。
・ パークゴルフ場の管理、市担当者の態度が上から目線、改善すべきと思うが。

7. 姉妹都市及び友好都市交流について

8. 成人年齢の引き下げについて

■総務委員会

1. 苫小牧駒澤大学の今後のあり方と市の支援について

陽 春

金澤 俊・宇多 春美

金澤 俊 議員



今回、一般質問では中小企業の抱える問題としては最近よく相談を受ける「人手不足」を如何に解消するかという視点から、外国人労働者の採用について市内企業の理解を浸透させるべく議論をさせていただきました。また、雇用を守る意味において、「事業承継」についての市内企業の理解もより浸透させることが必要であるとの認識から、「M&A」などの事業承継の具体的な手法の周知を市内企業に対して積極的に行っていくことを求めました。また、地域の経済活性化の大きな力となる中小企業支援ですが、直近の「人手不足」と国も集中的に力を入れることとなった「事業承継」については、今後もスピード感を持って取り組んでいきたいと思っております。

道路整備について議論
建設委員会では、市民要望が多く寄せられる、道路の修繕のあり方について議論しました。

宇多 春美 議員



子ども・子育て世代が街なか集える居場所づくりは、事業者や団体、個人との連携を深め、事業内容・実施場所・組織作りなどの検討を重ね、31年度の実現を目指して進めていきます。

苫小牧市手話言語条例制定後一年が過ぎたが、さらに手話が言語であることの市民周知、手話奉仕員養成講習会の拡充、関係団体と連携することを質しました。

ふくしのまちづくりは、社会福祉協議会と連携し地域づくりを進めること、また、町内会の加入率が減り役員の成り手・会費や予算減などの課題がある中、地域力が活性化しよう新たな財政支援を求めました。

児童虐待防止は、市に児相誘致や分室設置を求めることに対し道主催の連携会議が行われ、児童相談に係る体制面も強化している。市民・行政が一丸となり児童虐待防止に向かうため「児童虐待防止条例」を検討すべきと質しました。

水道水安定供給のため耐震化工事を進めています。



耐震構造で53年ぶりに改修された勇振ポンプ場

苫小牧市では、水道水の安定供給のため耐震化工事が進められており、浄水場施設では、82%、基幹管路では63%が耐震化されております。

勇振ポンプ場は、1964年（昭和39年）に、勇振取水場から高丘浄水場へ送水するために建設され、53年（2017年時点）が経過し、耐震性不足から建て替えを行いました。

施設は、Φ300mmのポンプが3台で、1日約4万トンを安定的に送水する能力を有しています。

また、各家庭などに配水するための管路についても、基幹管路の耐震化率は、63.12%（60,125km/95,260km）となっており、安定した供給のため布設替え工事が進められております。



勇振ポンプ場内には、Φ300mmのポンプが3台設置され、1日約4万トンを高丘浄水場に送水する能力を有しています。



耐震化に向けて日夜水道管の布設替え工事が行われております。

議会日程のお知らせ

●第17回 市議会定例会

※1回の傍聴につき70ポイント。
(本会議のみに限ります)



月日	内容	
9月6日(木)	陳情締切り(17:00まで)	
9月7日(金)	本会議	市政方針・議案等審議
9月13日(木) ～18日(火)	本会議	代表質問・議案等審議
9月19日(水)	常任委員会	
9月20日(木)	特別委員会	
9月21日(金)	議会改革検討会	
	本会議(議案等審議)	

※9月7日、13日から20日の開始時間は10時(予定)からになります。
(ただし21日は未定です)

※日程などについては変更になる場合があります。(土・日・祝日は休会)
詳細は、議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

素人の議員が、極力事務局の手を煩わせず発行を続けている。例えば「今年」は12月議会や年度替りの予算委員会ではいつの話かわからなくなるので数字表記してるが、そんな努力の一端を感じて欲しい。それにしても事務局の協力が欠かせず感謝しています。

とまこまい市議会だより
編集委員 桜井 忠

とまこまい市議会だより編集委員会

岩田 典一・神山哲太郎・板谷 良久・大西 厚子・工藤 良一
岩田 薫・首藤 孝治・桜井 忠・宇多 春美